

木葉小便り

令和7年2月18日(火)発行
文責 校長 吉野 新吾

2/8 雪の朝(木葉山より)

郷土の伝統工芸を大切に(素敵な贈り物その1)

1月17日(火)木葉猿窯元の川俣様より、今年の干支のへびの作品寄贈(写真右)がありました。郷土の伝統文化として、子供たちは木葉猿のことも学んでいます。

さっそく学校玄関に飾らせていただきました。地域に支えられながら学校の教育活動が進んでいきます。本当にありがたいものです。来校の際には、ぜひ作品をご覧くださいたいものです。



遊びながら学ぶ

2月7日(金)「校長先生見て!見て!」と2年生の子供たちがやってきました。前日から、給食後のデザートカップに花びらや葉と水を入れておいて凍らせてきたようです。「きれいだね」「どれくらいで解けるかな」「コーラのかき氷ができました」「〇〇ちゃんのがすごいよ」…。子供たちの表情が輝いています。生活科(理科)の学びにつながる遊びです。

世の中が現代ほど便利ではない時代、遊びの中で知恵を獲得する場面がたくさんあったのではないのでしょうか。こんな遊びが子供たちを心豊かにしていくのではないかと考えます。

寒い朝が温くなりました。

華やかな学校に(素敵な贈り物その2)

2月13日(木)地域の方よりカズラで編んだ花かご(写真右)の寄贈がありました。さっそく西側(山口側)児童昇降口に飾らせていただきました。

地域の学校として大切にしていることに本当に感謝です。学校も思いを大切に頑張ります。



学校裏の道が広くなりました



昨年10月から行っていた学校裏の道路拡張工事が1月末に終了しました。通りやすくなった分、気をつけて通行願います。また、壁面及びフェンスも改修となり、道路が広くなると同時に校舎裏もすっきりとなりました。学校及び周辺も時代と共に変化していきます。